

りとせ相模大野保育園

子育て支援広場 子育て情報 令和7年5月号

開園してから一か月が過ぎました。慣らし保育で泣いてしまった子どもたちも、少しずつ新しい環境に慣れ園生活の中で楽しめることを見つけ笑顔が見られるようになり、毎日弾ける笑顔を見せてくれています。これから様々な行事に参加しながら、成長する姿を見られるのがとても楽しみです。

りとせ相模大野保育園では、子育て支援や交流を行いながら、地域の子育て世代の親子と園児が楽しく過ごす機会を提供しています。

乳幼児は環境の影響を受けやすい！

広い場所では走り回り、高いところには登ってみる…これらは、子どもたちが環境からの情報に反応しているからだと考えられます。

子どもに「これはダメ!」「ここはダメ!」などと声を掛けるよりも環境を変えることで子どもの行動が変わることがあります。大人は意思が育っているので環境の影響を受けにくく、高いところを見つけても登らずに歩いて行けますが、乳幼児は、まだ意思が育っている途中であるため環境の影響を受けやすく環境からの情報によって行動してしまうことが多いのです。

戸外には「太陽の光」「暑さ・寒さ」「自然」がある！

外には自然が子ども達に必要な環境を整えてくれている場所がたくさんあるので、歩く、走る、登る、降りるなどたくさん体を動かし運動ができます。運動することで脳も育ちます。また、風を気持ちよと感じ、水に興味を示し、草花を見つけ、虫を追いかけます。自然の中では豊かな感性が育ちます。おまけに、昼間に日光を浴びることで夜ぐっすり眠るために必要なメラトニンがよく出るようになるとも言われています。外で体を動かし伸び伸びと遊ぶことで、ストレスを除き体がスッキリし、表情もイキイキ、夜はグッスリ!!自然のある環境は魅力的ですね。

行動に合わせた環境を整える！

「〇〇しなさい」「これはダメ!」と口うるさく言うよりも、思わずやってみたくなるような環境を整えると、子どもが自ら行動することが増えると思います。

環境を味方につけて、子どもの成長を促し、子育てを楽しみましょう。

【こいのぼり】

幟や吹き流しは、古くは平安時代の源氏の白旗、平氏の赤旗のような、それぞれの軍の目印であったものが、端午の節句に取り入れられたものです。

江戸時代に入って、一般の人びとが魚の鯉の形で幟を作ったのが、今のこいのぼりの始まりです。

「鯉は天に昇って龍になる」という中国の伝説から、男の子が強たくたくましく育つようにと願って飾られました。

育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか？りとせ相模大野保育園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。お待ちしております。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-14-2 4階 TEL 042-705-5311